

1 題材名 「ぬって！使って！楽しい生活」

2 指導観

〈こんな子どもたちを〉

本学級の児童は、1学期の家庭科の授業において、自分の家庭生活を見直したことを生かし、家族の一員として家族のために何か役に立ちたいという願いをもてるようになってきている。「さいほう用具を使おう」の学習では、裁縫用具の使い方を知り、玉結び、玉どめ、ボタンつけなどの技能を習得し、手縫いで簡単な小物を作り、またその中で製作の喜びを味わうことができた。

裁縫経験に関するアンケートでは、裁縫が「大好き」「好き」が84%を占めている。また学習以外でも裁縫をしているかについては72%で、家庭で裁縫をする子も多い。しかし、ミシンを使ったことがあるかについては31%と、ミシン縫いの経験の少ない子が多い。

物作りの楽しさを味わい始めてきた子どもたちが、安全で正しいミシン縫いの技能を習得することで、製作の幅の広がりをもって、ひとりひとりの思いや願いがこもった製作ができるようにし、作る喜びと完成の充実感を持たせるようにする。また作った物を使うことによって、家庭生活をよりよくしていこうとする実践的な態度をもった子どもたちに育てていきたい。

〈こんな題材で〉

本題材では、布・布製品の特性を知り、ミシン縫いの技能を習得し、家庭生活をよりよくしていく物を製作していこうという実践的な態度を育てることがねらいである。具体的には、

- ①布の特性を知ること
  - ②布端の始末のしかたがわかること
  - ③自分の家庭生活に役立つ布製品の材料、製作手順、製作方法を理解すること
- などが主な学習内容である。これらの学習を通して、子どもたちは手縫いとミシン縫いを活用した布製品の製作についての基礎・基本を身につけるとともに子どもたちが自分で学び方を決め、生活をよりよくしていくための課題を解決していこうとする素地を養うことができる考える。



〈こんな指導で〉

気づく段階において

- 布の種類や縫い方の特徴や適性に気づかせる。
  - ・身近な布製品の目的にあった布の活用や、布の性質による違いなどについての調べ学習を行い、比較観察する。
  - ・手縫いとミシン縫いの強度や縫い目、適性などについて比較観察する。
- 基礎的な知識を実感を持って獲得させ、製作活動につながる視点を持たせる。



追究し解決する段階において

- ミシン縫いと手縫いの部位による効果的な使い方を考える。
  - ・個人課題に添って製作計画の中で確かめたいことを実習し、よりよい製作方法を見出す。
- 個人課題解決（基礎的な知識と技能の獲得）に自信を持って製作活動にのぞませる。

〈題材の目標〉

- 布を用いて生活に役立つものを製作することに関心を持ち、布の特徴について調べたり、製作したりしようとする。 (意欲・関心・態度)
- 自分の生活に役立つ布製品のサイズやデザイン、縫い方を工夫して作ることができる。 (創意工夫)
- 生活に役立つ布製品の製作計画を立て、手縫いやミシン縫いで布端の始末をして作ることができる。 (技能)
- 裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方、及び製作に必要な材料や手順、方法を理解することができる。 (知識・理解)

### 3 指導計画 (全13時間)

段階	配時	学習活動	主な支援	評価規準
事前	課外	* 自分の裁縫経験について想起し、我が家の布製品を持ち寄る。	* アンケートで想起させる。	
気づく	1 本時	1 暮らしの中の布製品を探す。 (1) 家庭で見つけた布製品について出し合う。 ○布製品のはたらき ・どこに・どのようなものが ・何のために (2) 身近な布製品や布きれを手にとって観察し、分かったことを交流する。 ・布の性質 ・縫い目	* いろいろな布製品や布を準備しておき、触らせたり観察させたりする。また、観察して気付いたことを言葉で表現させる。 * その後の自分の課題設定につながる布製品を提示する。	・自分の家庭生活を見つめて、布の役割に関心をもつことができる。 (関心) ・布の材質や縫い目の違いを知ることができる。 (意欲・知識)
	<p>学習テーマ</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">布地を選びミシンを使って、生活に役立つ物を作ろう。</p>			
つかむ・見通す	課外	* 家庭での調べ学習 (観察・家庭からの聞き取り)		・我が家に必要な布製品を考えることができる。 (創意工夫)
	2	2 前時で学習したことと家庭での調べ活動をもとに自分の課題を決める。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人課題</span> ・作品のデザインとサイズ (我が家に合った工夫) ・使う材料・製作計画(製作手順) ・	* 作品見本や資料などを用意する。	・家庭での調べ活動をもとに、作るものを決め、作り方や手順を調べて製作計画を立てることができる。 (創意工夫)
追究し・解決する	9 ①	3 製作計画に沿って、製作をする。 (1) ミシンの安全な使い方を知る。 ・出し方としまい方 ・コントローラーの踏み込み方 ・ミシン針のつけ方など	* ミシンの技能習得については、資料や評価カードをもとにペアで追究できるようにする。	・針の正しいつけ方を理解している。 (知識・技能)
	② ⑥	(2) ミシンの直線縫いの仕方を知る。 ・下糸の巻き方 ・縫い始めと縫い終わりの方法  (3) 製作計画に沿って、製作をする。	* 作品別に製作グループを作る。	・下糸の巻き方を理解し、正しく巻くことができる。 ・上糸のかけ方がわかり、正しい順序でかけることができる。 (知識・技能) ・工夫して製作することができる。 (創意工夫・技能)
生かす	1	4 実践発表会をする。 (1) 家庭で使う。(課外) (2) 報告会をする。	* 互いの工夫を取り入れることができるように製作計画(材料・作り方・工夫・使いやすさ)をまとめる。	・便利さや楽しさを実感することができる。 ・友達の作品のよさを取り入れることができる。 (関心・意欲・態度)
事後		* 家庭実践(使用)の継続	* 使ってみた家族の声や使っている様子を学級通信で紹介する。	・作品を継続して使い日常生活の中で活用しようとしている。 (関心・意欲・態度)

### (1) 本時目標

- 身の回りの布製品を調べて、布でできているものに興味・関心をもつことができる。
- 布製品のはたらきや布の特性、ミシン縫いの特徴を理解することができる。

### (2) 本時の授業仮説

題材の導入で、布製品のはたらきや布の性質、ミシン縫いの特徴を理解するために、次のような活動を仕組めば、基礎的な知識を獲得するとともに家庭生活を見つめる科学的な見方ができ、今後の自分の生活に役立つ物の製作に意欲をもつことができるであろう。

#### ① めあてをもって主体的に発見活動ができる導入

本時は、事前に自分の家庭内にある布製品をもって来るように呼びかけを行う。布製品を持参することで、身の回りにある多様な布製品に気づくとともに、布製品のはたらきや縫い方、布の性質の違いがあることに気づき、本時の発見活動の視点をもつことができるであろう。

〈子どもの姿〉「身の回りにはたくさんの布製品がある」「布製品のはたらき・縫い方・布の材質に違いがありそうなので調べたい」という趣旨の発言を行っている。

#### ② 実感を伴った発見ができる体験活動

ア 各自が持ち寄った布製品を使用目的別に分別する活動(グループ学習)を仕組めば、生活場面を想起しながら、布製品のはたらきを実感することができるであろう。

〈子どもの姿〉布製品を使用目的別に手にとって分類している。

イ 各自が持ち寄った布製品(手縫いとミシン縫い両方)の縫い方を観察させる活動(各自、製品は班で共有)を仕組めば、身の回りで多く使われているミシン縫いの良さ(縫い目が細かくそろそろ、上糸と下糸が絡んで丈夫であること)を実感することができるであろう。

〈子どもの姿〉ミシン縫いの良さに気づき発言している。

ウ 教師が長い直線をミシン縫いする実演を見る活動を仕組めば、ミシン縫いの良さの一つである速さを実感することができるであろう。

〈子どもの姿〉「速い」とつぶやいている。

エ 4種類の布見本を一人一人でさわったり伸ばしたり、はしをほどいたりする活動を仕組めば、布の種類による特徴を実感することができるであろう。(フェルト、織物、編み物、キルティング)

〈子どもの姿〉布きれをさわって、それぞれの特徴に気づいて発言している。

### (3) 本時指導の考え方

はじめに、生活の中で使われている布製品を見つめ、本時のめあてをつかませる。それにあたり、事前に布製品の学習をすることを伝えておき、家庭から布製品を持参するようにしておくことで、家庭に目を向けさせると同時に、特徴見付けへの意欲をもつことができるようにする。

次に、身近な布製品や布切れを手にとって観察し、布の特性や縫い方について分かったことを交流させる。まず、布製品のはたらきについて意見を出させる。その際、いくつか例を挙げ、全体で考えて上でグループ活動に落とし、再度全体で交流するようにする。縫い目については、1学期に行った手縫いの小物を想起させたり、手縫いとミシン縫いの製品を比べさせたりする。さらに、ミシン縫いの速さに気がつかせるために、手縫いとミシン縫いの競争を担任と補助教諭とする。また布の特性については、一人一人に4枚の布を配り、生地を引っ張ったり、手でさわったりして、布の種類と性質について、全体でまとめていく。

そして、本題材のテーマを「布地を選び、ミシンを使って、生活に役立つ物を作ろう」とし、確認する。そして、次時までには、わが家で役立つ物は何かについて調べてくること、次時は製作計画を立てることを伝え、自己評価をして各自学習を振り返る。

### (4) 準備

教師：学習プリント、布製品の写真、布製品のはたらきを書いたカード、布と糸(競走用の準備)

ミシン（教師用）、布製品見本、布切れ見本、布切れ4種類、生活場面写真数点

児童：家庭にある布製品数点、筆記用具

(5) 展開

時間	学習活動・内容	教師の支援	評価基準
10分	1 生活の中で使われている布製品を見つめ、本時のめあてをつかむ。 (1) 身の回りで見つけた布製品を出し合う。 ○ 布製品の多様性への気づき (2) 本時の学習のめあてをつかむ。	○ 家庭の中の布製品を持参させておくことで、身の回りにさまざまな布製品があることや特徴の違いがあることに気づき、特徴見つけへの意欲をもつことができ	身の回りで見つけた布製品について、意欲的に発表する。 (発言の様子)
布製品のはたらき、ぬい方、布の特ちょうを見つけよう。			
10分	2 身近な布製品や布切れを、手にとって観察し、調べたことを交流する。 (1) 布製品のはたらきを考える。 ○ 使用目的によってさまざまな布製品があること ・汚れを防ぐ ・ものを入れる ・汚れをふき取る・生活を楽しくする		布製品のはたらき・ミシン縫いの特徴・布の性質が分かる。 (発言・学習プリント)
10分	(2) 布製品の縫い方の違いを観察し、交流する。 ○ ミシン縫いのよさを知ること ・縫い目のきれいさ ・上糸と下糸 ・縫う速さ ・丈夫さ	○ 手縫いとミシン縫いの布製品を目で見たり、引っ張ったりさせる。 ○ ミシン縫いの速さに気付かせるために長い直線を教師の実践で縫ってみせる。	
15分	(3) 布の性質を観察し、交流する。 ○ 布の種類と性質を知ること ・フェルト…ほつれない、のびない ・編み物…縦横にのびる ・織物…あまりのびない ・キルティング…布と布の間に綿をはさんで縫い合わせている。厚い。	○ 個人で観察できるように、フェルト、編物、織物、キルティングの4種類の布を一人一人に用意する。	
3分	3 学習テーマを確かめる。	○ 本題材で、ミシン縫いを覚えて、生活に役立つものを作ることを確認する。	
布地を選び、ミシンぬいで、生活に役立つ物を作ろう。			
6分	4 本時のまとめをする。 (1) 次時の学習をする。 ○ 今後の学習への見通しを持つこと ・わが家で役立つ物を調べること ・次時は製作計画を立てること		
6分	(2) 本時の学習をふり返る。 ○ 製作意欲を持ち布製品や布の特徴を知ることができたことをふり返ること	○ 本時の学習を自己評価させ、獲得した知識や意欲、新たな課題を記述させる。	自分の理解したことを自己評価している。 (学習プリント)

## ぬって！使って！楽しい生活

めあて **布製品のはたらき、ぬい方、布の特ちょうを見つけよう。**

### 布製品のはたらき

**布製品のおいてある場所は？**

- ・ リビング
- ・ 台所
- ・ トイレ
- ・ 洗面所

いろいろな  
ところにある！

**日差しを防ぐ**

カーテン

**物を入れる**

バック

**部屋を楽しくする**

ぬいぐるみ

ウォールポケット

かべかけ

**汚れを防ぐ**

エプロン

いろいろなはたらきがある！

### ミシンぬいの特ちょう

- ① ぬい目が細かい  
そろっている
- ② じょうぶ
- ③ 上糸と下糸
- ④ 速い

### 布の特ちょう

フェルト	編み物	織物	キルティング
布はしがほ どけない	のびちぢみす る	たてよこは のびにくい がななめは のびる	綿をはさんで ある 厚み

**学習テーマ**

布地を選び、ミシンぬいで、生活に役立つものを作ろう。

# ぬって!使って!楽しい生活 No.1

年 組 名前 ( )

めあて

## <ミシンぬいの持ちょう>



## <布の持ちょう>

<b>フェルト</b>	<b>編物</b>
<b>織物</b>	<b>キルティング</b>

## 《学習テーマ》

### 〈今日の学習をふり返って〉

☆ あてはまるものに○をつけましょう。

- 布の特ちょうがわかった。 ( ◎ ○ △ )
- ミシンぬいの特ちょう(良さ)がわかった。 ( ◎ ○ △ )
- ミシンを使って生活に役立つ物を作りたいと思った。( ◎ ○ △ )

☆ 学習への意欲、次に取り組みたいことなどを書きましょう。

---

---

---

---

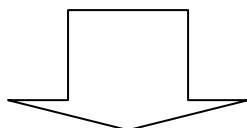
---

# めって！使って！楽しい生活 No. 2

年 組 名前 ( )

<家族にインタビュー>

聞いた人	あると便利な布製品・楽しくなる布製品



<決めた！>

どこに	
なんのために	
何を	
決めた理由	
作る際のポイント（どんな材料が必要？サイズ・デザインは？作り方は？） ※家族からのアドバイスをもらいながら考えてみよう！	

## 学習の流れ

- 1 学習テーマ決定
- 2 (家庭での調べ学習)  
↓
- 3 製作するもの決定  
製作計画  
↓
- 4 ミシンの安全な使い方  
↓
- 5 ミシンの縫い方(練習)  
↓
- 6 製作開始(5時間)  
↓
- 7 実践発表会  
↓
- 8 家庭でも続けよう

《家族からのコメント》

--